



校長だより

日中丸



第11号
H29. 6. 30

日間賀中学校長
鈴木 康弘

浜清掃 6.13(火)

6月13日(火)に、浜清掃が行われました。小学生と中学生が、西浜と東浜に分かれて行うのですが、今年度は観光協会の方も加わって行われました。これは、5月に行われた「日間賀サミット」を受けて、大人も一緒にやろうという提案があり実現したものです。約30分の活動でしたが、小学生も中学生も真剣に取り組みました。



救急法講習会 6.15(木)

6月15日(木)に、3年生を対象に、救急法講習会を行いました。消防署の方から、心肺蘇生法とAEDの使い方を学びました。真剣に話を聞き、真剣に実習に取り組んでいました。もしものときに、勇気をもって行動できるといいなと思います。



高校の先生の話聞く会 6.22(木)

6月22日(木)に、2・3年生と保護者を対象に、高校の先生のお話を聞く会を開催しました。今回は、内海高校、半田農業高校、三谷水産高校、日本福祉大学付属高校の先生をお招きして、それぞれの学校の特徴や高校卒業の進路先などについてお話をいただきました。それぞれの違いがよくわかりました。それぞれが自分事として、真剣に話を聞くことができました。



朝会より 6.26(月)

生徒発表（6月のテーマ：島の将来について）

鈴木遥斗さん（3年）

日間賀島にはゴミが多いと思います。僕も以前、観光客がゴミを捨てているのを見ました。それを見たときに、何でゴミを捨てるのだろうと思いました。しかも、すぐ近くにゴミ箱があったのです。この日間賀島をよくするためには、まず、ゴミを減らすことが重要だと思います。ゴミがなくなってくれれば、観光客ももっと増えるだろうし、また日間賀島に来ようと思ってくれる人も増えると思います。また、きれいになれば、まわりの人もゴミを捨てないように気をつけると思います。僕もこれから、ゴミがあったら自分で拾ってゴミ箱に捨てていきたいです。日間賀島がきれいな島になってほしいと思います。

中村浩二先生の話

こんな話をしてくれました。

今月の朝会発表テーマ「島の将来について」では、生徒の皆さんのいろいろな思いを聞くことができました。

「よりよい将来を考える」ことには二つの視点があると思います。一つは、「新しいものを取り入れ、変化すること」、そしてもう一つは「今もっているものを大切に守り、引き継ぐこと」です。どちらも大切なことですよね。

今日は、二つ目の「今もっているもの」について話をします。私が思うその一つが『人と人との温かいつながり』です。日々のあいさつや、祭りなど行事をみんなでやっている姿、浜清掃に協力してくださる大人の姿などからそれを感じます。他の地域（特に都市部）では、残念ながら失われてしまっているものが、この日間賀島には残っていると感じるのです。

日間賀島のすてきな将来を考えることは、皆さん一人一人のすてきな将来を考えることに、間違いなくつながっていきます。「未来は僕らの手の中」です。すてきな未来を期待しています。



校長の話

こんな話をしました。

① 林間学校を終えて

6月18日から20日まで、2年生と林間学校に行ってきました。3日間を通して、日に日に成長していく姿を見ることができました。級長・部屋長会での反省が翌日すぐに生かされていました。また、学級全員でレクリエーションを楽しんだり、声を掛け合って飯ごう炊さんや片付けに取り組んだりする姿から、仲間を大切にしていることが伝わってきました。2年生のすてきな姿をたくさん見ることができた3日間でした。この3日間の学びを、これからの学校生活に生かし、さらなる成長を遂げてほしいと思います。



② 期末テストに向けて

水曜日からは、期末テストが始まります。計画通りにテスト勉強を進めることができますか。君たち中学生にとって、学習することは、やるべきことのど真ん中です。「やるべきことをやる」、それが君たちの幸せな未来をつくっていきます。今は、全力で、期末テストに向かっていきましょう。

